

◆REPORT◆ 人とまちをつなく未来の図書館を考える講座2016

◆第1回(9/24)「未来の図書館、横浜から」

講師：岡本真さん(アカデミック・リソース・ガイド(株)代表)

公共施設は新たな時代を迎えています。図書館もまた、まち作りの強力な味方になれるとして、全国的に注目されています。にぎわいやつながりを高める協働の場として、窓を大きくし開放的な採光にし設計段階に工夫する・お喋りや演奏などもともと図書館ではタブーだったルールも工夫するなど、実現は可能です。市民が自分たちの力で進んで公共施設への対話と提言をすることで、より良い図書館、まち作りは叶うと岡本さんはお話し下さいました。

◆第2回(10/8)「市民目線で図書館法を読む～図書館ができること-できないこと」

講師：山口源治郎さん(東京学芸大学教授)

図書館法は、戦後、憲法・教育基本法と一体のものとして制定されました。住民の権利としての図書館、無料公開などを理念とし、社会の変化に即応する可能性や多様性を寛容する柔軟な規定を持つ優れた法律です。1980年以降「外圧」により国の責務の後退や指定管理制度など法の理念を空洞化する動きが広がっています。図書館の自律性を高め、理念を実現していくうえで法の担い手としての市民の図書館運営への参画、図書館員との協働を強めていくことが重要です。

◆第3回(11/12)「ワークショップ:妄想図書館、私も大胆に発想してみる」

コーディネーター：坪内一さん(元横浜市中央図書館企画課課長)

2回の講座・見学をうけて最終回は、市民にとって価値ある図書館像とその実現のためのアクションプランを4つの班に分かれてグループワークをしました。各テーブルではさまざまな発想・アイデアがポストイットで貼り出され、最後に各班から「好きな居場所を選べる図書館」「協働から育てるにぎやかな図書館」「一人ひとりが輝く図書館」「感動をくれる図書館」と4つの図書館像が発表されました。(※本通信2・3面に詳細イラストあります。)



若杉隆志：記

イラスト：ヘレン

図書館施設訪問

オフショナリツアーの横浜北部、南部の探検。
楽しすぎる！こんな体験は滅多にできない！
図書館はまだまだおもしろい！
原田紗弥佳

横浜北部コース 10月13日

●大倉山記念館・資料館

大倉山駅から登り坂を頑張って、そびえるギリシャ神殿のような白い資料館が現れます。資産家大蔵氏の、学者の心の修養になれればとの思いで、哲学書が中心の蔵書です。3.11にたえた本棚も立派に現役でした。

●港北区役所・まちライブラリー

消防士さんや区役所職員さんが、たくさんの方々の厚意を借り、小さくも確かな読書の拠点を形にしました。

●港北図書館

郷里の民話を区民の手作りで次代に伝えようと、図書館と区民が丸となり紙芝居を制作、公演しています。去年そのレファレンスで表彰も受けました。

●田奈高校「びっか」カフェ

子供達の安らぎと前進を全力で応援する、愛のある居場所です。就労定着支援や面談も常時しており、学校との連携も密に行っています。



横浜南部コース10月27日

●本とお茶、ときどき草庵庵

広くて美しい庭の先に、庵主の安木さんが着物と割烹着姿で出迎えてくれました。個人宅を改装してこだわりの本がいっぱい。あまりの居心地の好さに、遠方からの常連さんも多いとか。手作りのお菓子も提供していますよ。

●神奈川県議会図書館

本棚に立ち並ぶ議事録の厚みに、深く感銘を受けました。常勤司書さんは、昭和39年の議事録が最も摩耗し、それほど尊重されている歴史と説明しています。

●横浜中央図書館

デジタルアーカイブが最大のアピールとのことで、郷土資料をぜひ検索してみてくださいね。バックヤードの蔵書の圧迫感から、おそろしい仕事量を素早い身のこなしで片付けていく司書さんたちが目に浮かびました。



若杉隆志撮影

つづき図書館ファン倶楽部 通信特別号 vol.47 2017年新春

今回、特別号を発行する理由

いつも通信をご愛読いただき、ありがとうございます。みなさんは今利用している図書館に満足していますか？図書館は今大きな変わり目を迎えています。インドの図書館学者ランガナタンが「図書館は成長する有機体である」と言っているように、図書館は多様な働きや可能性を持っているはずで、そんな未来につながる図書館のあり方を学習し、みんなで考え、共有する講座を昨年の秋に行いました。今回の通信ではその講座の成果の一端を発信します。ワクワクする楽しい図書館、どこからかお年寄りまでみんなの居場所になる図書館。市民との協働で育てる図書館は、住みよいまちづくりにもつながっていくのではないかと私たちはそう考えています。「私たちごとの図書館」をいっしょに育てていきたいと思います。みなさんのお声をお寄せください。

つづき図書館ファン倶楽部代表 若杉隆志
連絡：080-6739-1139
mail:wakasugi@c06.itscom.net

つづき図書館ファン倶楽部
ホームページ:tsuzuki.libraryfun.net/



私たちがこの図書館をはじめていきたいと思います。
岡本 真 アカデミック・リソース・ガイド株式会社代表

職業として、図書館をつくる仕事いや、図書館をはじめた仕事をしていきます。わかりやすく言えばコンサルタントですね。これまで恩納村、日出町、富山市で私たちが関わった新しい図書館がオープンしました。去年は瀬戸内市で、今年も沖繩市で、来年は気仙沼市、名取市、須賀川市と続々と開館予定です。そんな慌ただしくも充実した日々を過ごしているわけですが、ときとして立ち止まって自問自答します。「これからの図書館はどうなっていくのがよいのだろうか」と。この問いは二〇一四年にます『未来の図書館、はじめませんか？』(青弓社)という著書の形で形になりました。そこでは図書館に必要不可欠な「拡張」とは何かという問いを立て、その時点でのそれなりの自分の答えをまとめてみました。幸い、一定のご評価をいただきましたが、まだなにか足りません。その問いをさらに自己内で、あるいは仲間同士で問い続け、このたび一つの形にすることができました。

それが「ライブラリー・リソース・ガイド」別冊Vol.3の中のOUR LIFE LIBRARY宣言です。一、「私たちが」として図書館を想像します。二、「人生のアクションを支える図書館を考えます」三、「まちそのものを図書館として見つめなおします」私たちは営利企業です。ですが、営利企業にもっとも必要なのは公徳心です。その心を軸に据えまともめ上げた別冊、ぜひ手に取り、ご意見をお聞かせください。

私たちの図書館をはじめていきたいと思います。

※「ライブラリー・リソース・ガイド」別冊Vol.3をご希望の方は下記をご覧ください。

予告 「これからの横浜の図書館って？ ワイワイがやがや北部集会」(仮称)

★基調講演：岡本 真さん
★横浜北部4区からのトーク・トーク
日時：4月30日(日) 13:30~16:30
場所：かけはし都筑(センター南徒歩8分)
主催：横浜の図書館ワイワイがや北部集会実行委員会(仮称)

『ライブラリー・リソース・ガイド』別冊Vol.3 ご希望の方へ

下記宛ご連絡をお願いいたします。
メール：wakasugi@c06.itscom.net
携帯：080-6739-1139



